

療養援助実習

単位数（時間数）：2 単位（90 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・土田幸子

科目担当者（職位・氏名）：教授・永井睦子 助教・野中みつ子、助教・武田恵梨子
助教・山田英子 他

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽
科目記号：53

■ 授業概要

看護過程論で習得した科学的な思考過程を基礎として、慢性的な疾病をもちながら療養生活を送る対象とその家族を理解し、看護過程を展開するための基礎的能力を高める。中でも、看護過程の第一段階であるアセスメント過程を通し対象の理解を深め、対象が抱える看護問題を明らかにすることに重点をおく。そして、対象の看護問題を解決するために看護計画を立案し、看護計画に基づいた看護の実践から、評価の重要性を理解できるよう教授する。

■ 到達目標

1. 常に相手を尊重した礼儀正しい態度で接し、対象者及び家族と良好な人間関係を築くことができる。
2. 看護過程の展開を通して、患者に必要な看護を実践できる。
3. 看護学生として責任をもって、準備から実施、後始末、報告までの過程を行うことができる。
4. カンファレンスでお互いを尊重した意見交換を行い、学びを深めることができる。
5. 実習でも経験を内省し、自己の課題を見出すことができる。
6. 看護学生としての社会的行動(他者への尊重、守秘義務、協調性、責任感)をとることができる。

■ 教育内容

基礎看護学

■ キーワード

看護過程、思考過程、対象の理解、療養生活援助、看護過程の展開

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当
<p>＜前半グループ＞ 令和6年7月29日（月） ～8月9日（金）</p> <p>＜後半グループ＞ 令和6年8月19日（月） ～8月30日（金）</p>	<p>＜実習方法＞</p> <p>(1) 実習初日は、学内でオリエンテーションに出席し事前学習を行う。</p> <p>(2) 実習期間中に1名の入院患者を受持ち、看護過程を展開する。 主に日常生活面で患者に必要な看護援助を考え、患者の個別性に合わせて安全・安楽に看護援助を実施する。</p> <p>(3) カンファレンスの場で積極的に意見交換を行い、学びを共有する。</p> <p>(4) 実習最終日は、学内で看護計画に基づいた看護の実施と評価について再確認後記録の整理、評価面接を行う。</p> <p>(5) 実習のまとめは、各グループで記録に整理し学内最終日に提出。 その後、小冊子にして配付し共有する。</p>	<p>共同</p>

■ 先行要件

「実習科目の先行要件」に以下の条件を加える。

- ・看護過程論および療養援助技術論の授業に3分の2以上出席していること。
- ・療養援助技術論の技術試験に合格していること。

■ 成績評価方法

実習評価表に基づき、実習内容、実習記録、レポート、実習態度等により総合的に行う。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

実習期間中は、担当教員や実習指導者から指導や助言を受け、より受持ち患者に適した看護を提供できるよう修正や変更を加えながら行う。修正や変更事項は、実習記録を記載する。

日々の実習終了後には、その日の実習の振り返り自己評価する。

実習記録は、担当教員がコメントしてものを最終評価終了後返却する。

グループ全体へ共通する事項はカンファレンスなどを通して行う。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版

基礎看護学 ② 基礎看護技術Ⅰ コミュニケーション／看護の展開／ヘルスアセスメント

基礎看護学 ③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術

基礎看護学 ⑤ 臨床看護総論

EX 疾患と看護 など

■ 参考書・参考資料等

基礎看護学領域で使用した授業資料

実習オリエンテーションや事前学習の際に、実習担当教員より紹介がある。

- ・高木永子監（2018）『看護過程に沿った対症看護 第5版』学研

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

実習前：実習オリエンテーションで必要事項について担当教員から指示される。

看護過程論で自己が展開した看護過程の内容を再学習し、受け持ち患者の展開に活用できるように整理しておくこと。また、練習時間を設けて看護技術の復習をすること。

実習後：実習記録を読み返し、不足事項や担当教員からのコメントに対して追記する。

■ 担当教員からのメッセージ

長期に及ぶ臨地実習となりますので体調管理を万全にし、実習要項の「共通要項」の実習での態度を再確認しておいてください。さらに、「生活援助実習」で見出した自己の課題を再度確認のうえ臨んでください。

臨床で生じる様々な事象について学生の理解が深められるよう専門的な知識をもとに意味づけして説明し、対象理解や援助の必要性につなげられるように実施しています。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

臨地で随時対応する。

実習オリエンテーションの際、担当教員の連絡先を提示する。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の实務経験

看護師、助産師、保健師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

看護師

■ 実務経験を活かした教育内容

病院や施設での看護師、助産師、保健師の経験を踏まえ、病院での実習指導を行っています。